

<参加学生の感想>

藤崎先生のお話を通して、(中略) 自分のいる場所から世界を見るのではなく、真上に立って双眼鏡で歴史・心理の観点から世界を読み解くと、国際社会の状況がクリアに見えてきて理解できるのだと学んだ。(中略) 実際に米国という国際社会をリードする国で日本の代表として大役を果たされてきた経験があるからからこそ、培われてきたものの見方・考え方なのだと考えた。自分自身がこれから国際社会で生きていくためには、藤崎先生のような社会の風潮に対して鋭い視点を身につけること、一歩立ち止まって当たり前を疑い、原点に戻ってデータを解析して自分の考えを持つ癖をつけることが大切なのだと学んだ。(2年生)

私たちは日本人として日々放送されているニュースや記事を読んでいるため、一定のバイアスがあることを講演会をきっかけに気がつきました。(中略) いろいろな立場で語られる政治ですが、自分がもしもその場に立っていたらと考えることで理解できることが増えるのだと学びました。また、藤崎先生の言葉で、日本はアメリカと中国の狭間にいるわけではない。独自の外交をすることが重要だという意見にとっても納得しました。(2年生)

日々のニュースにどう関わるべきか、基本的な姿勢、考え方からアメリカ、中国、北朝鮮について歴史と心理の視点から捉えることができました。(中略) 国際問題や政治の話は難しく捉えがちですが、おおまかな歴史を見て、自分で情報を判断できるようになりたいと思いました。(2年生)

これまで少し難しく感じていた北朝鮮や米中関係などについてうさぎとかめのイラストを使いながら非常に分かりやすく客観的に説明して下さり、世界情勢についての学びを大いに深めることが出来ました。(4年生)

講演内容ももちろん大変学びになり、現場で動いていらした大使だからこそのお話や、そのお言葉の持つ雰囲気を実感したことは私にとって、これから国際交流学科において学びを深めて行く上で非常に糧になるものであると確信しております。そんな中でも、私が特に衝撃を受けたのは、大使自らデータをいろいろなところから集めてきて資料を作られていたところです。(中略) 自分でデータを探し当てて組み合わせ、分析をしてプレゼンの場で発表される大使のアグレッシブな姿勢に非常に刺激を受けました。(2年生)

国際情勢は各国の政治経済が大きく反映されたものであり、この森を見るためには原点に戻って様々な面から自分で調べてみる大切だと学んだ。貧困問題や人権問題には、国のシステムや方針が関係していることに改めて気が付き、裕福であり立場の高い政治家や国民の意識が変わり、行動に移さなければ問題は解決に向かわないと考えた。(中略) 日本国内の課題にも目を向け、上手に他国と関係を築いていくことの重要性を感じた。日頃から世界情勢の現状に目を向け、自分事として相手の立場に立って考えてみたい。(2年生)

私は今回のご講演を拝聴して、考えたことが2つあります。国際関係とは人間関係を拡張させたものであるということ、私たちは自ら情報を探しだしていかなければならないということです。(中略)次に、「自ら情報を探し出さなければならぬということ」。私は現在、国際メディアについて学んでいます。(中略)メディアで取り上げられる表面的なものだけを見て理解したつもりになるのではなく、根本では何が起きているかを自らが探しだして行く必要があると思いました。(3年生)

歴史と心理のレンズで世界を見るということが印象的でした。そうすることで、他の国の言動の真意を見抜くことができると実感しました。国際情勢に対して難しいというイメージを持っていましたが、少し簡単そうで私にも理解できそうだと感じることができました。また、心理に関して、相手の立場に立って考えるというお話は、国家間だけでなく、普段の私たちの生活にもつながると感じました。(2年生)

(略)今回この講演会を通してこの二国がどのような関係にあたるのか、トランプ政権やバイデン政権についてなど理解することができました。また、この講演会の開催にあたって、各自で米中関係や北朝鮮に関して調べて学ぶということもし、より理解が深まったと感じられます。(3年生)

アメリカの政治に関心があるため、特にアメリカについてのお話が大変興味深かったです。昨年の大統領選挙も興味を持ちネットで得票数を追いかけたりしていましたが、細かい数字については注目していなかったと気付かされました。(中略)最高裁判事の重要性についても改めて学ぶことができ、特に駐在大使であった藤崎先生のお話、ご意見を伺うことができ非常に勉強になりました。(3年生)

(略)藤崎先生のお話の中に自分の勉強したことが上がって、それを理解することができる、自分のやってきたことは間違っていなかったと思うことができました。この講演会を通して、知識を持つことで関心のなかったものが関心のあるものになると知ることができました。(2年生)

北朝鮮について、米中についてそれぞれの国について学び、現在大変話題になっている米中関係について学びました。(中略)私が講演を聞いて考えたのは、アメリカの製造業の減少、外国人の増加がアメリカの貧困を深刻化させているということです。また、貧困の深刻化がトランプ優勢や、アメリカの二分化を悪化させた原因であるのかと考えました。(2年生)

Today's lecture helped me understand the essence of diplomacy. (2年生)

「心理と歴史の双眼鏡で森を見る」というお話がとても印象的でした。これまでは主観的に問題を見てきてしまったなど、気付かされました。(2年生)